

○事業所名	学校法人郡山私幼協学園 みらいサポート		
○保護者評価実施期間	令和7年 12月 20日		～ 令和8年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 13日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員全員が幼稚園教諭と保育士の資格を取得していて、保育経験も豊富である。そのため、子どもの育ちをしっかりと捉えることができる。	・肯定的な言葉かけや絵表示などを活用し、一人ひとりの課題となる部分を把握しながら育ちに繋げる自立課題や活動等を行っている。 ・年齢や育ちを考えた運動メニューや小集団活動を取り入れている。	・研修や勉強会等に参加し専門性を高め、支援の質の向上に繋げている。 ・支援終了後の打ち合わせで、その日の課題や改善点を話し合い、次回の療育の計画を練っている。
2	同じ法人内の幼稚園を卒園し、放課後等デイサービスを利用している児童が多いため、継続した支援を行うことができる。	・当時の幼稚園の担任にも現在の様子を共有し、本人と話す機会がある。 ・課題や運動等のステップアップを図り、シームレスな支援が行える。	本人や保護者と、半年前、1年前、2年前の様子などの振り返りを行うことで成長の喜びや自信に繋げている。
3	隣の小学校からの通所の児童は、下校後すぐ療育を受けることができる。	昇降口に迎えに行く際、担任の先生にその日の様子を聞き取り、支援に活かしている。	小学校との情報共有や連携の機会を増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小学校の下校時間が遅いときは、支援時間が短くなってしまうこと。		・療育日は、小学校の下校時間が早い曜日を提案する。 ・時間区分2の療育時間の確保のため、療育時間の見直しを行った。
2			
3			